



小笠原村立小笠原中学校

学校だより

令和2年3月10日 第11号

小笠原村立小笠原中学校

校長 小野満 賢

学校ホームページ

<http://www.ogachu.que.ne.jp/>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



学年末を迎えられることの有り難さ

校長 小野満 賢

2月27日、政府は新型コロナウイルスの感染被害を最小限にするために、全国の小中高校等に3月2日からの臨時休業を要請しました。準備期間があまりに少なく教育現場は大きな戸惑いと混乱が生じています。学校の中には2月28日が突然の最終登校日となったために、何の心の準備もできぬままの突然の『別れ』となり、悲しみに暮れる様子もありました。準備していた学年末の行事が全て中止になり、卒業式すら執り行われないところもあります。コロナウイルスは未だ解明されていないことが多く、時期を自らの意志で選んだわけでは無いのは重々承知ですが、「何もこの時期に流行らなくても」と思ってしまう。

小笠原村立学校は内地から遠く離れていることや、感染経路が限られていることもあり、おがさわら丸入港後の様子を注意深く見ることとし、村教委の判断で先週末までの4日間の休校となりました。もちろん長い潜伏期間等を考えると万全では無いにしろ、今後、児童・生徒をはじめとして村の方々に大きな健康上の変化が無ければ、多少の変更や縮小はあるにしても、通常に近い学年末を迎えられる可能性が残されています。

「準備とまとめの3学期」の最終章である学年末、きちんと区切りをつけ、お別れの儀式を行う機会が得られることを祈りながら、日々、学校生活を送るということが決して当たり前のことでは無いという「有り難さ」を改めて感じています。それが叶わなかった学校の児童・生徒たちのことを思うとより一層この残りの日々を大切に過ごさなければという思いを強くしているところです。

卒業式を来週末に控え、3年生は本校で過ごす日々がいよいよ僅かとなりました。生徒たちの手作りのカウントダウンのカードも数枚を残すのみです。中学校の3年間、そして小学校からの義務教育9年間の集大成となる卒業式を前に、さまざまな思いが胸にこみ上げてくることでしょうか。仲間や先生方との数え切れない思い出が詰まった中学校生活を振り返り、一抹の寂しさも感じているのではないのでしょうか。お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、そして心身ともにたくましく成長した自分に自信と誇りをもって、52回目を数える卒業生として、堂々と胸を張り、新たなステージへの一步を踏み出してほしいと思っています。

1・2年生は三週間足らずで学年の修了を迎えます。この1年間の学習や行事、生徒会活動や部活動などへの取組を通して、みなさんには確かな成長の跡が見られます。その集大成として、心を込めて「3年生を送る会」や「卒業式」に臨んでくれることを願っています。そして1年生は先輩に、2年生は最上級生になる自覚をもち、4月からいいスタートが切れるように準備を進めてください。次の小笠原中学校をつくっていくのは紛れもなく皆さん自身です。

卒業を機にまたは年度末をもって小笠原を離れる人もいます。どこに行ったとしてもこの島はいつでも皆さんの心に在り続けます。いつか自分の進む道に迷うことがあっても、島で過ごした時間が皆さんのエネルギーとなり、信じる道へ決意をもって歩み出す時に、背中を押してくれることがあるかもしれません。離れてみて改めて小笠原の素晴らしさに気付くこともあるでしょう。いつかまた小笠原に戻ってくるかもしれません。たとえ戻ることが叶わなくても、どこにいても小笠原を大切に思い、関わりをもっていくことが、一度でも小笠原で過ごした者の使命なのではないかと思えます。この島で同じ時代に出会えた縁を大事にしていきたいと思います。

さて、本校はこの1年間、教育目標である「よく学び、考え、行動する人」「やさしくたくましい人」「社会の一員として貢献できる人」の実現を目指し、さまざまな教育活動を展開して参りました。保護者・地域の方々には様々なところでご支援・ご協力を賜りましたことに教職員を代表してお礼を申し上げます。時に「校長先生！」と声をかけてくださり、本校の教育活動について、「良かったですよ」とお褒めの言葉をいただくことがあります。私は嬉しくてすぐに教職員に伝えるのですが、それを聞いた教職員も見見る顔がほころんでい

きます。改めてこの仕事のやりがいを感じるとともに、それが教職員の自信となり、また次の良い教育実践のエネルギーになっていくことが一目でわかります。褒められて嬉しいのは子どもだけではなく、生徒の成長を願っての日々の教育活動が少しずつでも成果として現れ、それが評価されることで次へのいい準備ができ、いい実践につながります。そういったプラスの循環をしていくことが全ての仕事をしていく上で大事なのだと改めて感じています。

もちろん課題にも目を背けず、しっかりと対応していきます。3月23日(月)に予定されていましたが保護者会は、昨今の事情により中止といたしますので、過日保護者の皆さまからいただきました学校評価に基づく次年度の方策や改善案については資料にてお示しいたします。学校は寄せられたご意見を真摯に受け止め、早急に改善できるものについては速やかに反映して参ります。お気づきの点があればいつでも遠慮なく本校教職員にお伝えください。

次年度は、教員の働き方改革への取組も言葉や理念だけではなく、具体的な変化、即ち実効性を問われることとなります。また、令和3年度の中学校の新学習指導要領の全面実施に向けての準備を着実に進めていかなければなりません。引き続き、小笠原の子どもたちの健全な成長のために、教職員一同一致団結して努力して参ります。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

新入生説明会

「ようこそ『おが中』へ」

教務主任

2月4日(火)に、小笠原小学校の6年生を対象に新入生説明会を行いました。説明会のはじめは、授業を体験してもらいました。今年度は保健体育科でバレーボールの授業を行いました。初めはとても緊張している様子でしたが、先生の指示をよく聞き、一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。

次に、実際に中学生が受けている1年生の国語と2年生の社会の授業を見学してもらいました。各学級10分程度の短い時間でしたが、多くのことを感じ取ってくれたようでした。

最後に、中学校の学校生活について説明しました。説明の後半には、中学校の生徒会役員が学校行事と生徒会・委員会活動について、プレゼンテーションソフトを使いながらわかりやすく伝えていました。実際に学んでいる中学生から実感のこもった説明を聞いたことで、新入生も中学校生活に見通しをもつことができましたようです。

新入生が希望をもって中学校に入学してきてくれることを楽しみにしています。



第1学年 働く人に話を聞く会

「キャリア教育」

第1学年担当

本校では、キャリア教育の一つとして、1年生を対象に「働く人の話を聞く会」を実施しています。今年度は、2名の講師をお招きし、2回に分けて設定しました。

第1回目は、2月17日(月)にダイビングサービス KAIZIN より講師の先生にお越しいただきました。講師の先生は、本校の卒業生でもあり、顔見知りの生徒もいたようですが、仕事の話を直接聞く機会はないため、生徒たちは真剣に話を聞いていました。

講師の先生からは、「今の仕事がすごく好き。毎日、今日は何があるかな、とワクワクして仕事をしている。仕事は、一生の中で長い時間を占める。今の段階で、なりたい職業がある人もない人も、やりたいこと・楽しくできる仕事をぜひ探してみよう。そして、できれば島のために何かできる人であって欲しい。」と、お話がありました。

第2回目は、3月3日(火)に実施予定でしたが、臨時休校のため13日(金)5校時に延期となりました。講師は、国際連合 UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の方です。インターネットを使用して、海外からの講演となります。保護者の皆様の参観も可能ですので、ぜひお越しください。



「自主自律」

「1年間を振り返って（第1学年）」

第1学年 学級担任

昨年4月の学校だよりで「自主自律」を第一に掲げたことをご紹介しました。振り返ると、母島移動教室、小中高連合運動会、学習発表会など様々な行事がありました。学校生活や部活動も1年が経過しようとしています。1年生の成長を3学期になって強く感じます。お昼の時間を守れずにいた4月と比べると、今ほどの学年よりも早く準備を行い、挨拶ができます。帰りの学活も時間を守り行動することができます。他にもたくさんの成長が見られます。自分で考え、自分で行動できるようになってきています。「自主自律」という理想に少し近づきました。しかし、まだまだ本当の「自主自律」には届いていません。これからも気を緩めることなく、日々精進していきましょう。



「スポンジ」

「1年間を振り返って（第2学年）」

第2学年 学級担任

今年度1年の始まりの最初に「スポンジ」の話をしました。1年生の時はしっかりと「吸収する」時期。2年生はその吸収したものを「自分なりに泡立てる」時期。そして3年生は、2年生に泡立てたその泡で「磨く」時期だと説明しました。今年1年間で、「自分」という存在と向き合ってきた2年生。

授業や生活の中で、クラスの中にいる「自分」の在り方を考え続けました。

職場体験などを通して将来の「自分」の事を考えました。

硫黄島学習の中で、今いる「自分」のありがたみを知ることができました。

一人一人が根気強く「自分」と向き合い、泡立ててきたものが、来年度3年生になった時に、どのように学校に影響を与え、この学校をより良くしていくのか、いよいよ最上級生となる君たちの更なる成長を期待しています。

保護者・地域の皆様には、今年も様々な場面で学校に足を運んでいただきありがとうございました。2月にあった硫黄島学習の発表会では、子どもたちの「変わらぬ良さ」と「成長」をお見せできたのではないかと感じています。それは、保護者・地域の皆様の温かいご支援とご協力があったからこそです。改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



「残す」「Memory チャレンジ&カバー」

「1年間を振り返って（第3学年）」

第3学年 学級担任

義務教育最後の1年間がもうすぐ終わろうとしています。先日、全員の進路先も決定しました。この進路選択を通して、自分がやりたいことは何なのか、将来はどうするのか、受験勉強は何をしたらいいのか、18人がそれぞれ悩み、考えながらも、放課後の自習教室では、多くの生徒が残り、互いに励まし合いながら過ごしていました。授業中の質問の内容は質が高まり、家庭学習の内容も充実し、受験生としての意識が高まっていったように思います。学級目標にあるように、それぞれが課題に向かってチャレンジをし、それを仲間がカバーすることで、18人の受験が終わりました。

いよいよ、受験生から卒業生となりました。この学校で、18名で過ごすことができることは、あともう少しとなります。私たちが学校へ「残す」ことができるものは、何でしょうか。それは最後の卒業式の日まで、何かしらあると思います。多くの思い出とともに、最後の行事を成功させ、学校を巣立っていきましょう。



国立天文台との連携授業

「第3学年 理科 出前授業」

理科担当

2月14日(金)2校時に、国立天文台水沢 VLBI 観測所特任研究員の講師の先生が3年生に特別授業を行って下さいました。2019年4月10日、史上初となるブラックホールの存在を画像で証明することに成功した、と発表されました。そのブラックホールについて詳しくお話をしてくださいました。生徒たちは熱心に話を聞き、講師の先生からの質問に積極的に答えたり、疑問に思ったことを質問したりしていました。学ぼうとする意欲が感じられました。講師の先生もとても良い雰囲気でした！と喜んでおられました。専門知識が豊富な学者の方の話が聞くことができ、貴重な体験にもなったと思います。

2月15日(土)は国立天文台でのイベントに科学部が参加しました。身近なものでの実験の説明や補助をして、参加された方々に科学の楽しさ不思議さを伝えました。小さな子どもたちが実験をして笑顔になっている姿をみて、「科学って楽しいな！」と改めて感じました。



おが中生の活躍

令和元年度防災ノート活用促進月間における「防災標語コンクール」

東京都内の公立中学校・中等教育学校（前期課程）・義務教育学校（後期課程）・特別支援学校（中学部）に通う第1学年の生徒を対象にした「防災標語コンクール」において、優秀作品として表彰されました。

「わからない だから備える 災害に」第1学年

（敬称略）

3月・4月の主な予定

- 2日(月) 生徒会朝礼 三者面談始(1・2年)
自転車安全点検(1・2年)
都立一次合格発表
- 3日(火) 新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休校(6日(金)まで)
部活動等中止(8日(日)まで)
- 9日(月) 学校朝礼(中止) 球技大会(中止)
- 10日(火) お弁当の日
- 11日(水) 卒業遠足(3年)
- 12日(木) 海洋調査(3年)
SC勤務(今年度最終)
- 13日(金) 海洋調査予備日(3年)
三者面談終(1・2年)
- 16日(月) 学校朝礼 3年生を送る会
- 17日(火) 卒業式予行
- 18日(水) 卒業式準備
- 19日(木) 卒業式
- 20日(金) 春分の日
- 23日(月) 学校朝礼 保護者会(1・2年)(中止)
- 24日(火) 大掃除 郷土講座(1・2年)

- 25日(水) 全体学活 修了式 離任式
- 26日(木) 春季休業日始
- 30日(月) 見送り式
- 4月(一部の主なもののみ)
- 2日(木) 出迎え式
- 6日(月) 始業式
- 7日(火) 入学式
- 10日(金) 保護者会
- 13日(月) 保護者面談始
- 21日(火) 修学旅行保護者説明会
- 27日(月) PTA総会

※新型コロナウイルス感染症への対応により、今後予定が変更になる場合もあります。

※今年度最後の学校だよりとなりました。平成31(令和元)年度の教育活動に、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様から、ご理解・ご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。来年度も変わらずご支援くださいますようよろしく願いいたします。